

平成30年6月12日(火)
 宇都宮国道事務所
 鬼怒川ダム統合管理事務所

記者発表資料

大規模災害に備え災害対策用機器の操作訓練を実施します ～国、自治体、災害協定会社の3者合同～

国土交通省では、震災や洪水被害等に対応するための災害対策用機器を保有しており、国土交通省の直轄施設の災害対応に使用するだけでなく、地方公共団体からの要請により、全国に派遣を行っています。

今回、宇都宮国道事務所、鬼怒川ダム統合管理事務所では合同で、災害発生時などに迅速に災害対策用機器を設置・操作ができるよう、栃木県内の国土交通省事務所の職員、地方公共団体の職員、災害協定会社の皆様を対象に下記のとおり操作訓練を実施致します。

記

- 実施日時 平成30年6月14日(木) 13:20～16:40
- 実施場所 鬼怒川・真岡地区河川防災ステーション
栃木県真岡市若旅(別紙会場図参照)
- 講習内容 別紙1のとおり

※報道機関の皆様へ：災害対策用機器の操作(実技)の取材が可能です。
会場内に駐車場を用意しています。



発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、栃木県政記者クラブ、日光記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局
 宇都宮国道事務所
 電話 028-638-2181 (代表)
 副 所 長 おかの みのる 岡野 稔
 管理第二課長 たかはし あきお 高橋 明男

国土交通省 関東地方整備局
 鬼怒川ダム統合管理事務所
 電話 028-661-1341 (代表)
 副 所 長 つぼや たけし 坪谷 剛
 防災情報課長 さいとう みちお 齊藤 道雄

災害対策用機器操作訓練

1. 日 時 平成30年6月14日（木） 13時20分から16時40分まで
2. 場 所 鬼怒川・真岡地区河川防災ステーション
栃木県真岡市若旅（別紙会場図参照）
3. 主 催 国土交通省 宇都宮国道事務所・鬼怒川ダム統合管理事務所
4. 目 的 この操作講訓練は、災害発生時に、国土交通省職員、地方公共団体職員及び災害協定会社が災害対策用機器を迅速に出動させ操作することで、災害復旧活動を円滑に実施できるようにするものです。
5. 内 容

集合・受付	13:00～13:20
開会	13:20～13:30
訓練	13:30～16:30
閉会	16:40
6. 使用機械 排水ポンプ車、照明車、対策本部車（拡幅型）、Ku-SAT II（衛星小型画像伝送装置）

ポ 排水ポンプ車

緊急時の内水排除等の水害防止を目的に排水作業を行います。



高低差約10mの場合、毎分30m³の排水ができます。
(25mプールを約10分で排水可能)
排水ホースは最大50mです。

装備

- 排水設備 / 形式: 水中ポンプ、排水能力: 7.5m³/min × 4台で毎分30m³の排水が可能
- 照明設備 1kw × 1灯

照 照明車

夜間作業時に災害現場を明るく照らし、災害復旧などを安全に行えるようにするほか、避難所等の照明として設置することもできます。また、発電機を装備しているため電源供給も行えます。



投光器は最大で20mの地上高まで作業を行うことができます。



格納時、操作ミス防止のため半自動制御方式となっており、スイッチひとつで格納ができます。

装備

- 照明設備 2kw × 6灯 ランプ配列: 3列2段
- 車両の大きさ 車両時: 全高約3.3m / 全長約6.6m / 全幅約2.1m

照 照明車

夜間作業時に災害現場を明るく照らし、災害復旧などを安全に行えるようにするほか、避難所の照明として設置することもできます。



投光器は最大で地上高10mまでセット可能。
設置は1人で10分程度で設置可能。

装備

- 照明設備 2kw×3灯×2組
- 車両の大きさ 全高3.4m/全長約4.7m/全幅約1.8m/車両総重量約5.6t

対 対策本部車(拡幅型)

災害発生時に現場へ出動し、対策本部として情報収集、復旧作業の指揮、対策検討や他の機関との連絡等を行う拠点となります。



車両側部が拡幅できる構造で、拡幅時には約25m²のスペースが確保でき、大きな図面等を広げながら打合せもできます。



2台の車両を連結することにより、最大約50m²のスペースを確保できます。

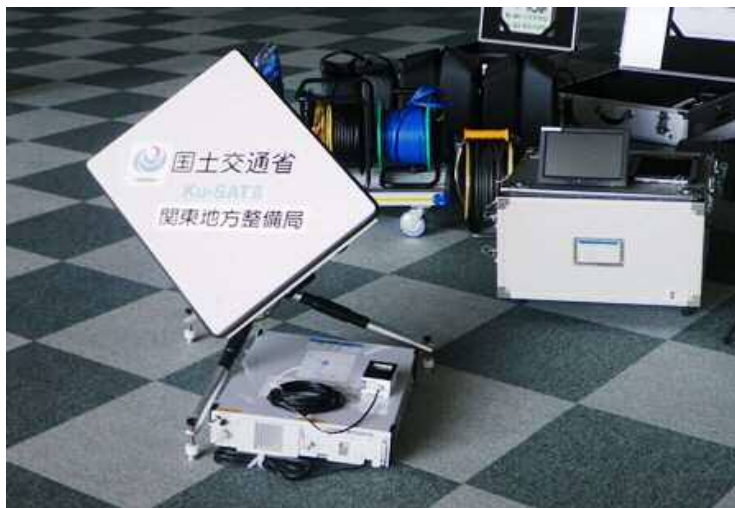
装備

- 通信設備/無線電話
- その他 エアコン、テレビ、ビデオ、ラジオ、FAX、会議用テーブル
- 車両の大きさ(参考)
 - 車両時:全高約3.8m/全長約8.1m/全幅約2.5m
 - 拡幅時:全高約3.8m/全長約10.1m/全幅約5.4m

K

Ku-SAT II (衛星小型画像伝送装置)

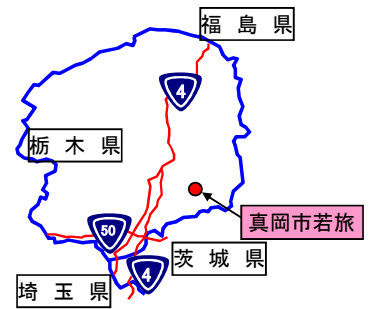
・災害時において地上回線が不通となった場合や緊急通信・災害復旧通信等、災害現場との通信の確保が必要となったときに、災害現場から災害対策本部間の回線設定を行い、被災状況把握や復旧作業を円滑に行うために電話や被災地映像を配信する機能を持っております



【特徴】

- ◎通信衛星を利用して災害現場の映像を送信又は受信する小型の衛星通信装置です。
- ◎小型なので、ライトバンで運搬可能です。設営は、約15分で可能です。
- ◎無線従事者の国家資格をもっていなくても、操作運営ができます。

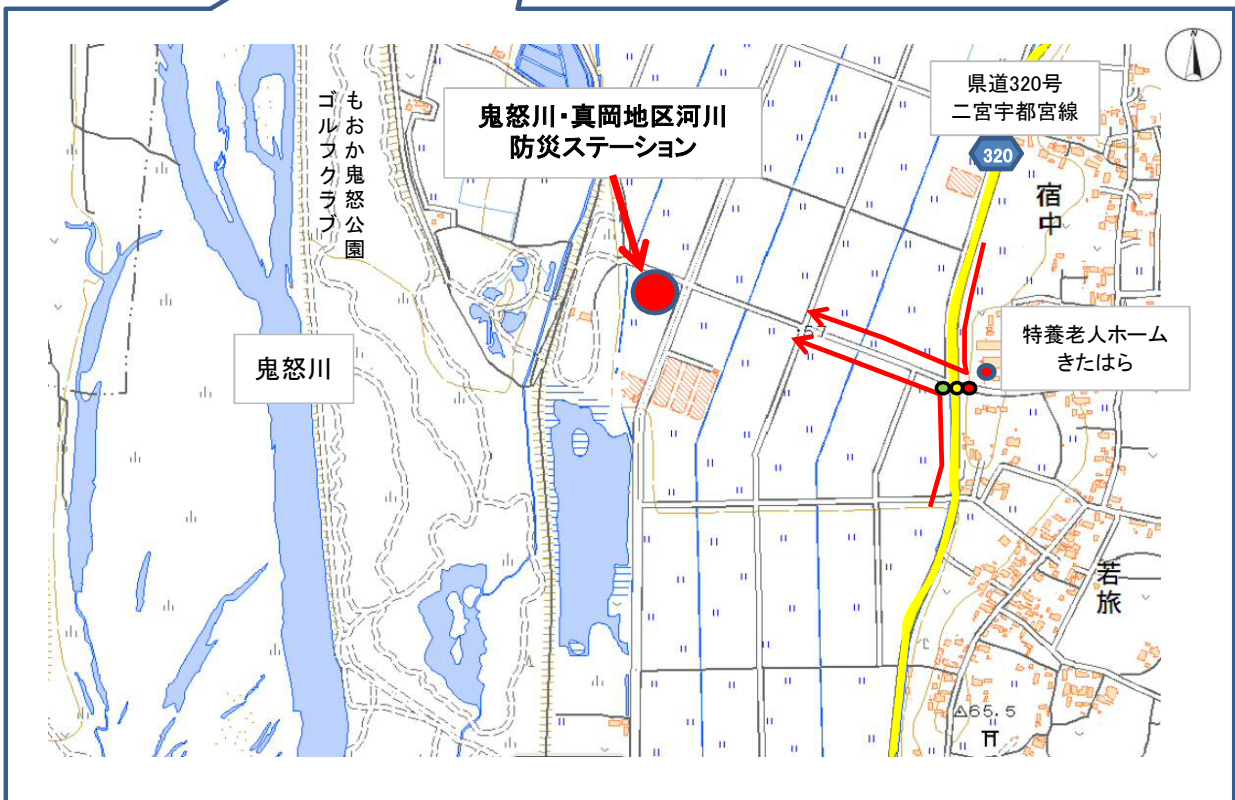
会場図



至 宇都宮



至 小山



※車でお越しの際は、駐車場を用意しておりますので、会場の誘導に従い駐車して下さい。